

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	超免疫不全マウスを用いたヒト臨床がん材料の <i>in vivo</i> 新規評価系の開発と研究への利用
	研究目的	本研究では、神奈川県立がんセンター病院および神奈川県立こども医療センター病院で手術により切除された「がん」を免疫能力が著しく弱められているマウス（実験動物中央研究所が作製）に移植し、がん研究用の実験動物モデルを作ること（遺伝子解析研究を含む）を目的としている。出来上がったモデル動物系は、神奈川県立がんセンター及び下記共同研究機関が行う様々な研究に使用する。
	研究期間	病院長が研究実施を許可した日(2010年9月27日) ～ マウス動物モデルの作製期間: 研究許可日から 2016年3月31日まで なお、作成されたマウス動物モデルは終了期限を設けずに研究に利用する予定です。
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(凍結組織) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	骨軟部外科、消化器外科、脳外科、乳腺内分泌外科、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	<p>【共同研究機関および研究責任者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京医科歯科大学難治疾患研究所ゲノム病理学 教授 石川俊平 ・実験動物中央研究所実験動物研究部 部長 末水洋志 ・東海大学医学部再生医療科学 教授 中村雅登 ・自治医科大学さいたま医療センター総合医学第1講座 講師 千々和剛 ・東京大学先端科学技術研究センターゲノムサイエンス分野 教授 油谷浩幸 <p>【公共データベースへの提供】</p> <p>解析された遺伝子配列などは患者のお名前やご住所などの個人情報とは削除したうえで、EBI EG, NCBI dbGa, JGA 等の公共データベースへの登録する可能性がある（平成 29 年 5 月 30 日現在）。いずれも審査を受けた研究者のみがアクセスできる厳格なコントロールアクセス機能を持つデータベースであり、個人情報の取扱いに十分な配慮がなされていることが予め確認されている。なお、データの公開先について変更があった場合には、このウェブサイトにて公示する予定である。</p>
備考	本研究は、対象となる患者さんから個別同意を得て実施しておりますが、説明時の研究内容に加えて、上記の公共データベースへ情報提供する計画となったため、情報公開を行うことになりました。	